

# 彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, August 2019

課長：佐藤 裕久 H. Sato

幹事：下元 繁男 S. Shimomoto

## ○ 8月の状況 (佐藤)

☆ C/2018 W2 (Africano) (写真 a)

彗星課メーリングリスト (oaa-comet ML、以下同じ) などに次のように報告があった。

8月7日 12:38、筆者から「8月6.65日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4 反射+CCD で全光度を12.6 等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

18日 20:25、吉田誠一氏(神奈川県横浜市)から「群馬県・北軽井沢での彗星観測です。台風が通過した直後ですが、雲が多く、満月もあって、彗星はかなり見づらかったです。淡く拡散しています」とのコメントと C/2018 N2 (小さいですが、集光は強いです)と併せ眼視光度観測の報告があった。

19日 23:50、筆者から「8月12.67日、16.79日 UT、門田健一さん(上尾:349)は0.25-m f/5.0 反射+CCD でそれぞれ全光度を11.7等、11.4等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

25日 00:35、張替憲氏(千葉県船橋市)から「一か月半ぶり、梅雨明け後の観測です。青く集光のある円盤状です」とのコメントと C/2017 T2 (集光の弱い恒星状です)、C/2018 N2 (白く集光のある円盤状です)、260P (集光のあるコマからごく短い尾が西に広がっています)と併せ写真光度観測の報告があった。

27日 22:47、筆者から「8月25.75日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4 反射+CCD で全光度を11.9

等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

☆ C/2017 T2 (PANSTARRS) (写真 b)

3日 11:32、筆者から「8月1.76日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を13.9 等と観測しました。『南西(PA=226°)方向に長さ3'余りの尾が見えます。測光範囲は直径95"です』とコメントしています。1.77日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4 反射+CCD で全光度を13.7 等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

7日 12:30、筆者から「…8月6.75日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4 反射+CCD で全光度を13.6 等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

13日 21:09、筆者から「8月3.75日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を13.9 等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

19日 23:59、筆者から「8月12.74日 UT、門田健一さん(上尾:349)は0.25-m f/5.0 反射+CCD で全光度を13.2 等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

21日 01:30、筆者から「8月17.78日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を13.3 等と観測しました。『南西方向(PA=239°)に長さ3.5'の尾が伸びてい

ます』とコメントがありました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

27日 22:59、筆者から「8月 25.78 日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4 反射+CCD で全光度を 13.1 等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

☆ C/2018 N2 (ASASSN) (写真 c)

3日 11:24、筆者から「8月 1.74 日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4 反射+CCD で全光度を 12.9 等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

15日 22:13、筆者から「8月 6.67 日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は 0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を 13.1 等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

19日 23:54、筆者から「8月 12.72 日 UT、門田健一さん(上尾:349)は 0.25-m f/5.0 反射+CCD で全光度を 12.4 等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

21日 01:33、筆者から「8月 17.75 日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は 0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を 12.5 等と観測しました。『南方向(PA=189°)に長さ 8' の尾が伸びています』とのコメントがありました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

27日 22:40、筆者から「8月 25.71 日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4 反射+CCD で全光度を 12.2 等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

☆ 260P/McNaught (写真 d)

7日 16:01、筆者から「8月 2.70 日 UT、門田健一さん(上尾:349)は 0.25-m f/5.0 反射+CCD で全光度を 13.4 等と観測しました」とのこ

コメントし改良軌道要素を報告した。

8日 23:38、筆者から「8月 7.75 日 UT、池村俊彦さん(新城観測所: Q11)が 0.35-m f/5 反射で撮った CCD 画像から、私は全光度を 13.1 等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

13日 22:22、筆者から「8月 12.65 日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4 反射+CCD で全光度を 12.9 等と測定しました。台風 10 号の影響でしょう、雲の動きが非常に早かったです。何度も雲に覆われ 60s×7 フレームしか撮影できませんでした。月もあり空が明るいです。ペルセウス座流星群の火球が 1 つ北東から南東に流れました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

15日 22:55、筆者から「8月 6.66 日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は 0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を 14.0 等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

19日 23:28、筆者から「8月 16.71 日 UT、門田健一さん(上尾:349)は 0.25-m f/5.0 反射+CCD で全光度を 12.9 等と観測しました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

21日 02:04、筆者から「8月 17.76 日 UT、高橋俊幸さん(栗原:D95)は 0.25-m f/4.2 反射+CCD で全光度を 13.1 等と観測しました。『PA=244° 方向に長さ 10.5' 程の幅広い尾が伸びています』とのコメントがありました」とのコメントと改良軌道要素を報告した。

27日 22:33、筆者から「8月 25.65 日 UT、私(Q23)は、0.25-m f/4 反射+CCD で全光度を 12.3 等と測定しました」とのコメントと画像を紹介し改良軌道要素を報告した。

○ 8月に検出が確認された彗星

☆ P/2010 U2 = 2019 P1 (Hill) K. Sarneczky (Konkoly 天文台)の通報によると、8月2日と7日UT、Piszkesteto 観測所の0.60-m Schmidt 望遠鏡で得たフィルターなしの CCD 画像から P/2010 U2 (IAUC 9174)を検出した。この彗星はかすかに見える、両日とも拡散状で7日は120

秒6枚露出では西に短い尾があった。中野主一氏のNK 3206 (またはICQ Comet Handbook 2018, 2019)の予報に対しDelta(T)は、-0.47 dayであった。MPC 102107のGareth V. Williamsの予報に対するDelta(T)も、-0.47 dayであった(CBET 4658、MPEC 2019-P61、2019 August 9)。

## ○ 主な光度等観測報告

2019	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
C/2017 K2 (PANSTARRS)											
Aug.	1.59	16.5	0.2'	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	12.63	17.3	0.2	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	17.60	17.4	0.2	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2017 T2 (PANSTARRS)											
Aug.	3.78	14.8	1.1'	-	-	-	-	-	EOS6D*	張替憲	③④⑤
C/2018 N2 (ASASSN)											
July	31.75	13.0	0.5'	-	4.0'	195°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
Aug.	1.75	13.1	0.5	-	4.0	195	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	1.77	13.2	1.3	-	-	-	-	-	EOS6D*	張替憲	③④⑥
	3.71	13.3	1.8	-	-	-	-	-	EOS6D*	張替憲	③④⑥
	12.74	13.4	0.6	-	5.0	195	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	16.74	12.3	1.4	4/	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	⑦①
	16.74	12.4	0.6	-	4.5	195	2/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	17.73	12.8	0.6	-	4.0	195	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2018 W2 (Africano)											
July	31.76	13.8	0.2'	-	0.4'	220°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②⑧
Aug.	1.75	13.1	0.5	-	0.4	195	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②⑧
	1.77	12.7	1.5	-	-	-	-	-	EOS6D*	張替憲	③④⑨
	3.78	12.2	1.9	-	-	-	-	-	EOS6D*	張替憲	③④⑨
	12.75	14.1	0.6	-	0.5	240	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②⑧
	16.76	11.1	1.8	2/	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	⑦②
	17.75	13.6	0.6	-	0.6	240	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②⑧
C/2018 Y1 (Iwamoto)											
Aug.	1.82	18.2	0.1'	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
C/2019 K5 (Young)											
Aug.	16.74	16.4	0.2'	-	-	-	2/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	17.73	16.8	0.2	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
29P/Schwassmann-Wachmann											
July	31.78	15.3	0.5'	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
Aug.	2.75	14.0	0.2	-	-	-	2/5	2/5	45-cmC*	嶋邦博	①②⑩⑪
	3.67	14.2	0.2	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②⑩
	12.73	14.0	1.3	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	13.78	14.3	1.0	-	-	-	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	16.73	15.3	0.8	-	-	-	2/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②

2019	UT	ml	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
68P/Klemola											
Aug.	1.52	14.7	0.3'	-	0.6'	150°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	3.49	15.1	0.3	-	0.6	160	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
260P/McNaught											
July	31.57	13.9	0.5'	-	5.5'	240°	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
Aug.	1.73	13.9	0.5	-	5.5	240	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	2.76	13.7	0.5	-	4.0	240	2/5	2/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	3.76	13.9	0.5	-	5.0	235	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	5.72	13.5	1.6	-	-	-	-	-	EOS6D*	張替憲	③④
	12.73	13.2	0.5	-	5.0	235	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	13.78	13.3	0.5	-	5.0	235	3/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②
	16.72	13.0	0.5	-	4.0	235	2/5	3/5	45-cmC*	嶋邦博	①②

\* 45-cm F12 (レデューサー使用 F4.6) カセグレン反射+FLI ML8300。

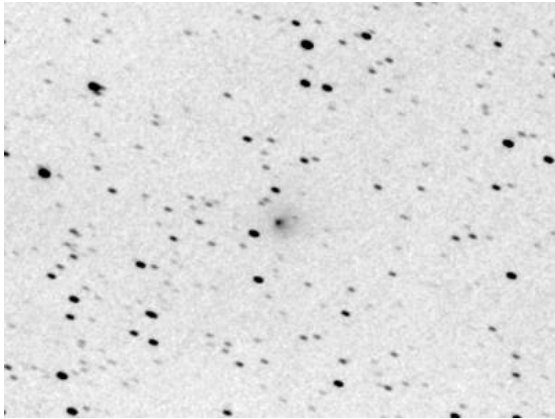
\*\* 15-cm F4(レデューサー使用 F2.5) 反射+デジタル一眼 Canon EOS 6D。

- ① 観測地:長野県富士見町 五藤光学八ヶ岳観測所。② 60秒露出をAstrometrica UCAC-4で測定。  
 ③ 15cm F2.5反射+Canon EOS6DのG画像をGUIDE9.0を使用してMakali i Ver1.4aにて測光。観測地は千葉県九十九里海岸。④ 50秒露出(25秒×2) ⑤ 集光の弱い恒星状。⑥ 白く集光のある円盤状。  
 ⑦ 観測地:群馬県・北軽井沢。⑧ Wide tail ⑨ 青く集光のある円盤状。⑩ MP image ⑪ 8月2日にアウトバーストがあったようだ。  
 ① 小さいが、集光は強い。② 淡く拡散している。

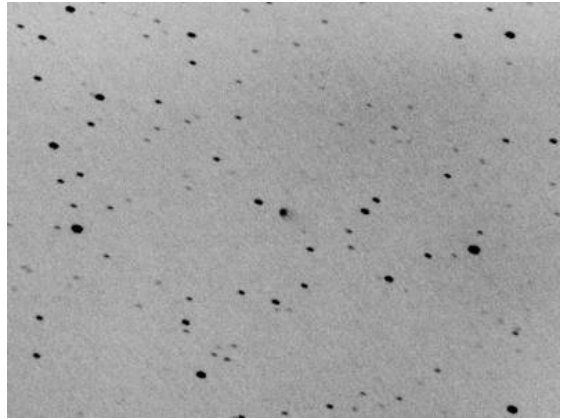
※ 全ての光度等観測は、次を参照。

[http://www.comet-web.net/~oaa-comet-ml/comet\\_mag\\_report.htm](http://www.comet-web.net/~oaa-comet-ml/comet_mag_report.htm)

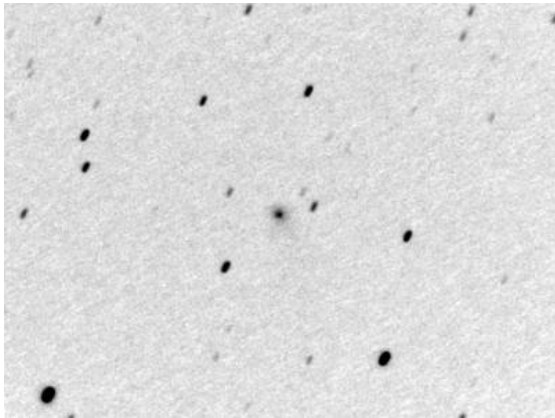
※ 光度等の観測報告は、佐藤裕久宛て e-mail : hirohisa-sato@hi-ho.ne.jp に送付ください。



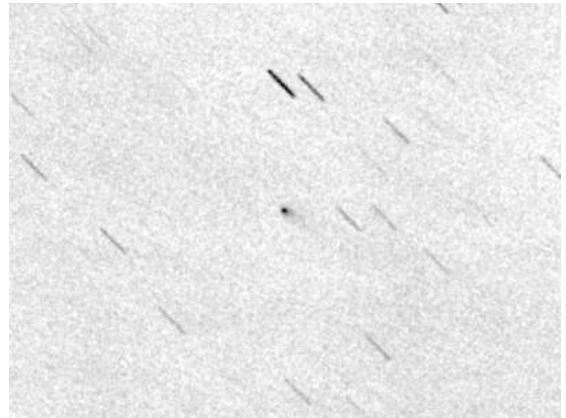
(写真 a) C/2018 W2 (Africano)  
2019, 08, 05 00h50.0m-01h24.0m (JST)  
exp. 60s×31 TOA130 + CCD  
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) C/2017 T2 (PANSTARRS)  
2019, 08, 02 03h25.6m-40.8m (JST)  
exp. 60s×11 0.25-m f/4 反射 + CCD  
福島県須賀川市 佐藤裕久



(写真 c) C/2018 N2 (ASASSN)  
2019, 08, 27 00h32.9m-53.0m (JST)  
exp. 60s×20 TOA130 + ASI 294  
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 d) 260P/McNaught  
2019.08.04 01h03.0m-37.0m (JST)  
exp. 60s×31 TOA130 + CCD  
三重県伊賀市上野 田中利彦氏